

柳泉園グランドパーク

スポーツ施設を使用して、心地よい汗を流した後は、「湯〜プラザ柳泉園」でリフレッシュ!!



スポーツ施設を使用した方は、当日に限り浴場施設を大人1時間200円で使用することができます。

- 休館日：毎週木曜日、年末年始
- お問い合わせ：グランドパーク ☎042-473-3121

湯〜プラザ 柳泉園

薬湯のおしらせ

今後の予定

平成24年 7月：桃の葉湯
8月：ハッカの湯
9月：スギナの湯
10月：ラベンダーの湯

日程については、電話でお問い合わせください。
(田無浴場組合と共同開催です)

※7月1日(日) 桃の葉湯※

乾燥させた桃の葉には肌荒れ、湿疹に効果があることから江戸時代には汗をかき夏に桃の葉湯に入る風習が広がったようです。梅雨特有の蒸し暑さに負けないよう桃の葉湯でリラックスしてみませんか。

夏休み 子供見学会

- 対象 小中学生とその保護者
- 日時 平成24年7月31日(火) 午前10時から
- 集合場所 柳泉園組合管理棟 1階ロビー
- 申し込み 当日、直接集合場所へ来てください。



もうすぐ夏休み! 清掃工場の見学をして君も環境博士になる!!

お問い合わせ：総務課庶務文書係 ☎042-470-1545



この時期を代表とするおなじみの花です。梅雨から夏にかけて美しい花を咲かせます。一般的に庭木として植えられている球状の「あじさい」は、「西洋あじさい」です! 「西洋あじさい」は、日本の「あじさい」を西歐人が持ち帰り品種改良を加えたもの。「があじさい」が「あじさい」の原種だそうです。現在、「あじさい」の品種は多岐にわたり、さまざまな色や形があります。柳泉園組合入口にも、数種の「あじさい」が花を咲かせています。

情報公開制度は、柳泉園組合が保管・保存している文書を対象に公開するもので、請求された情報は、個人情報などの非開示情報を除き、原則すべてが公開されます。

なお、平成23年度柳泉園組合情報公開の実施状況については、右の表の通りでした。

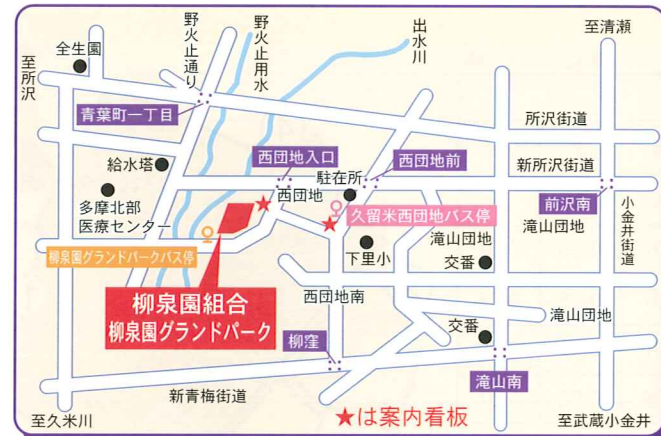
平成23年度情報公開請求の件数及び決定内容

情報公開請求件数	3	
内	全部公開	1
	一部公開	2
訳	非公開	不存在 0
		その他 0
	取下げ	0

交通アクセス

西武バス

- 西武池袋線 東久留米駅西口よりバスで12分
<武21> 「久留米西団地・錦城高校経由 武蔵小金井駅」行きに乗り、「久留米西団地」下車 徒歩6分
- 西武池袋線 清瀬駅南口よりバスで21分
<清03> 「下里団地経由 花小金井駅」行きに乗り、「久留米西団地」下車 徒歩6分
- 西武新宿線 花小金井駅北口よりバスで21分
<花01> 「久留米西団地」行きに乗り、「久留米西団地」下車 徒歩6分
<清03> 「下里団地経由 清瀬駅」行きに乗り、「久留米西団地」下車 徒歩6分
- JR中央線 武蔵小金井駅北口よりバスで32分
<武21> 「久留米西団地・錦城高校経由 東久留米駅西口」行きに乗り、「久留米西団地」下車 徒歩6分



銀河鉄道 (青葉恩多町線)

- 西武新宿線 東村山駅東口よりバスで11分
「柳泉園グランドパーク」下車
(バス停留所は、柳泉園組合入口のところです。)



発行 柳泉園組合 2012年6月

〒203-0043 東久留米市下里4-3-10
TEL: 042-470-1555 (代) FAX: 042-470-1559
ホームページ <http://www.ryusen.or.jp>
E-mail info@ryusen.or.jp

RYUSEN-EN NEWS りゅうせんえん ニュース

http://www.ryusen.or.jp/

vol.65

柳泉園組合
2012年6月発行

柳泉園組合は、組合を組織する清瀬市、東久留米市及び西東京市の一般廃棄物を処理する施設等を管理運営している特別地方公共団体(一部事務組合)です。

室内プール夏季期間!

7・8月は子供が2時間100円でご利用いただけます。



一般

25m、6コースの遊泳用プールで、水深1.1~1.3mです。

室内プール
開館時間 10:00~21:00
大人(2時間) 400円
子供(2時間) 200円(夏季100円)



水泳用帽子を持ってきてね!

幼児用



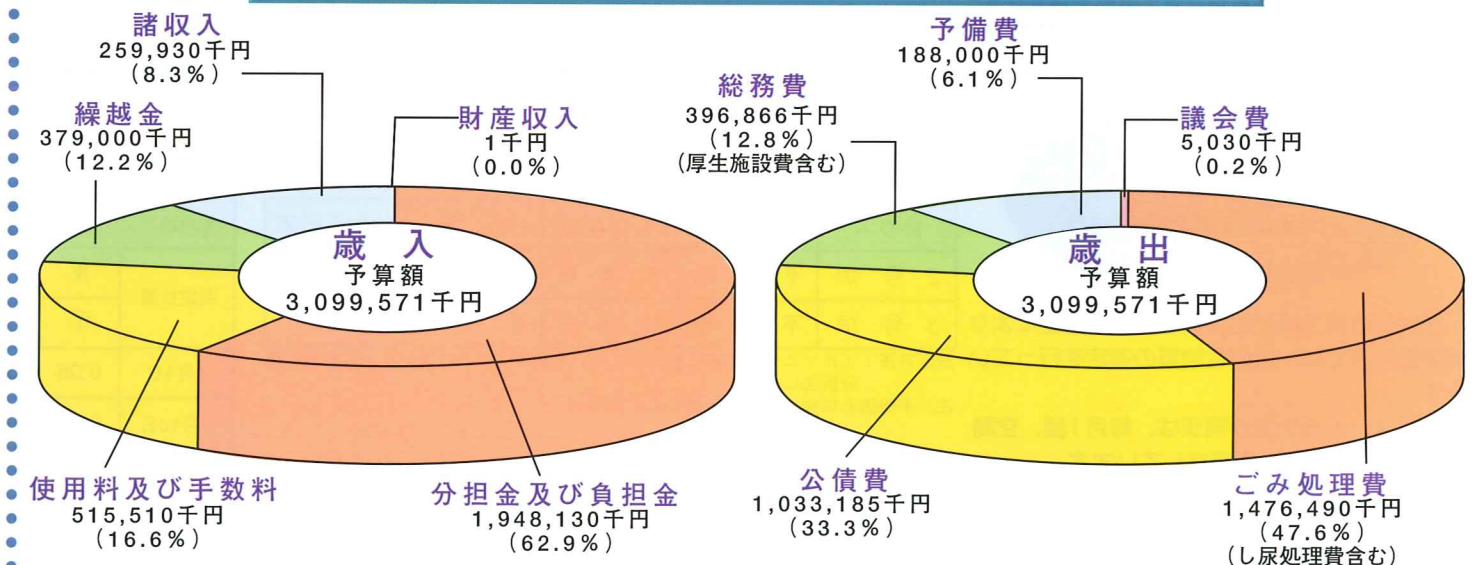
水深50cmの浅いプールです。幼児用プールのみ浮き輪がご使用になれます。

歩行用



水深1.0m~1.1m、1周約25mの流れるプールです。流れに向かって歩けば体力増進! 手すりもついて安心です。

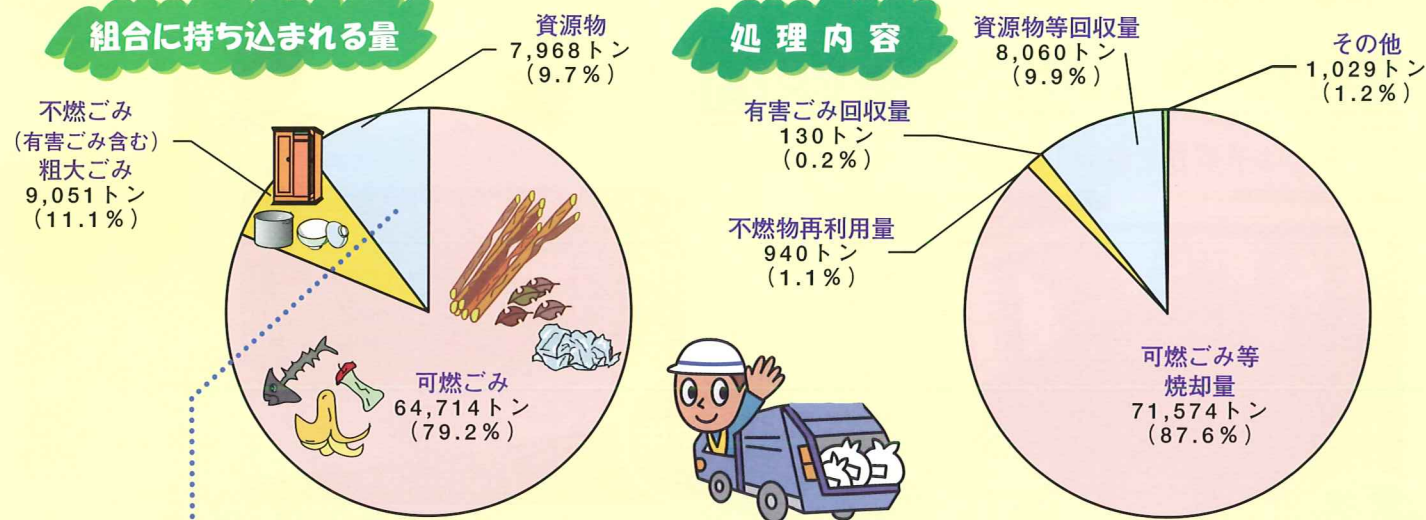
平成24年度 柳泉園組合予算について



平成24年第1回柳泉園組合議会定例会で可決されました。

- 歳入の約63%は組合を組織する関係3市の負担金です。
- 歳出の約47%はごみ処理費、約33%は借入金金の返済にあてる公債費です。
- 主な事業
 - ・ごみ処理施設、し尿処理施設及び厚生施設の運営
 - ・クリーンポート運転業務委託
 - ・資源物再利用(選別・回収)

平成24年度 ごみ資源物の処理計画



資源物搬入量の内訳

(単位: トン)	
缶類	1,216
びん類	3,228
古紙・布類	2,238
ペットボトル	1,286

- 可燃ごみ**
ごみを燃やして出た灰は、西多摩郡日の出町にある二ツ塚処分場までトラックで運び、エコセメント化施設でエコセメントの原料として再利用されます。
- 不燃ごみ・粗大ごみ**
不燃ごみと粗大ごみは、危険物などを取り除き破砕した後、トロンメル(回転ふるい)でごみを分け、可燃物はクリーンポートへ運び、不燃物は固形燃料として再利用されます。また磁選機を使って鉄などを取り除き、これらの金属も再生工場に送られリサイクルされます。
- 有害ごみ**
蛍光灯、電池などの有害ごみは、北海道にある処理施設に運び処理しています。
- 資源物**
缶…集められた缶は、磁選機を使ってアルミ缶とスチール缶に分け、固まりにして再生工場に送られリサイクルされます。
びん…集められたびんは、再利用できる生びん(ビールびんのように洗って使えるびん)を抜き取り、その他のびんは、色別に分け細かく砕かれ、それぞれ再生工場に送られリサイクルされます。
古紙・布類…集められた古紙・布類は、布類、ダンボール、新聞、雑誌それぞれに分けられ固まりにして再生工場に送られリサイクルされます。
ペットボトル…集められたペットボトルは、余計なものを取り除いてつぶして固まりにして再生工場に送られリサイクルされます。

平成24年度 ごみ等の測定計画

廃棄物の処理及び清掃に関する法律等の関係法令等を遵守して、施設の適正な維持管理を図るために、多くの項目について分析・測定を行う予定です。特に排ガス中の窒素酸化物、硫黄酸化物、塩化水素及び一酸化炭素は、自動測定を行っています。

ダイオキシン類		その他	
排出ガス	3炉×4回	ばい煙8項目	24回
ばいじん(飛灰)	4回	焼却灰熱灼減量	24回
焼却灰	4回	焼却灰溶出25項目	4回
排出水	6回	焼却灰含有11項目	1回
土壌	4箇所×1回	ごみ質	4回
作業環境	4箇所×2回	飛灰溶出27項目	4回
		飛灰含有11項目	1回
		汚泥溶出27項目	4回
		汚泥含有11項目	1回
		排水水41項目	2回
		排水水9項目	10回
		焼却残渣組成	6回
		アンモニア測定	3回

放射性物質測定	
排ガス	3炉×8回
焼却灰	12回
飛灰	12回

柳泉園クリーンポート(焼却炉)ダイオキシン類測定結果

測定項目(単位) 排出基準	排出ガス (ng-TEQ/m ³ N)			工場排水 (pg-TEQ/l)	焼却灰 (ng-TEQ/g)	ばいじん(飛灰) (ng-TEQ/g)
	0.1	10	3			
測定場所	1号炉	2号炉	3号炉	工場排水	焼却灰	ばいじん
測定日	平成24年1月27日	0.000018	0.000024	0.000024	0.0040	0.037
						0.13

放射性物質 空間放射線量 測定結果

放射性物質汚染対処特別措置法の規定により柳泉園組合では、放射性物質の測定を行っています。

排ガス、焼却灰及び飛灰は、毎月1回、空間放射線量は、毎週1回測定しています。

測定結果は、HPに掲載しており随時更新しています。

Bqとは、測定対象に含まれている放射性物質の能力の強さを表す単位です。

μSvとは、放射線が体に与える影響を示す単位です。

4月の測定結果

4月20日 試料採取 (単位: Bq/m ³)				
排ガス	セシウム134	セシウム137	合計	検出下限値
2号炉	不検出	不検出	不検出	2
3号炉	不検出	不検出	不検出	2

測定方法: ゲルマニウム半導体検出器を用いた線スペクトロメトリーによる核種分析法に準拠
注) 不検出とは検出下限値未満のことです。

4月20日 試料採取 (単位: Bq/kg)				
	セシウム134	セシウム137	合計	検出下限値
焼却灰	65	95	160	10
飛灰	444	619	1,063	10

測定方法: ゲルマニウム半導体検出器を用いた線スペクトロメトリーによる核種分析法に準拠

敷地境界空間放射線量 (単位: μSv/時)					
測定位置	東	西	南	北	バックグラウンド
	①	②	③	④	⑤
4月4日	0.08	0.07	0.07	0.06	0.07
4月10日	0.08	0.07	0.07	0.08	0.08
4月18日	0.07	0.06	0.06	0.09	0.06
4月25日	0.08	0.06	0.06	0.08	0.07

測定器具: 富士電機(株)製γ(x)線量測定器NRE74(DOSEe) シリコン半導体検出器(PN接合型)
測定高さ: 地上1m



宮城県女川町の 災害廃棄物の受入処理について

平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、被災地では膨大な量の災害廃棄物が発生しました。宮城県においては1年間に排出される一般廃棄物の14年分にも上り、被災地だけでの全量処理は場所や時間の制約により限界があり、復興の大きな妨げとなっています。

このため、国は全国的な広域処理を進めるべく都道府県に対し災害廃棄物の受入処理について協力要請をしています。また、東京都では災害廃棄物処理支援を効率よく実施できるよう、独自の事業スキーム(計画)を策定しました。

平成23年11月には、宮城県女川町で発生した災害廃棄物を、多摩地域の清掃工場において円滑に処理できるよう相互に協力することが、東京都、宮城県、宮城県女川町、東京都市長会の間で合意されました。

この合意及び東京都の事業スキームに基づき、柳泉園組合においては構成市(清瀬市・東久留米市・西東京市)の各市長による管理者会議の決定を経て、女川町の災害廃棄物を受け入れることといたしました。

災害廃棄物については、現地女川町の災害廃棄物選別施設の選別エリアにおける1時間ごとの空間線量測定、破碎・選別後の放射性物質と空間線量測定、さらに輸送用コンテナに積み込んだ後、コンテナごとの空間線量を測定し、安全を確認した災害廃棄物のみが搬出されます。

また、東京二十三区清掃一部事務組合の清掃工場で行った試験焼却の結果も、通常のごみ焼却と同程度であることが確認されています。

平成24年5月末現在、具体的な受入時期、受入量などは決定していませんが、組合周辺の皆様、また、構成市の市民の皆様に対する説明を行ったところであり、今後、具体的な計画が決まった際には、災害廃棄物の受入処理に係る歳入歳出予算を編成し、組合議会の議決を経て、受け入れを開始する運びとなります。

詳細は決定次第、組合ホームページでお知らせします。

被災地の一日も早い復興のため、皆様のご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。